

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公開番号】特開2006-154330(P2006-154330A)

【公開日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【年通号数】公開・登録公報2006-023

【出願番号】特願2004-345180(P2004-345180)

【国際特許分類】

G 03 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/16

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月14日(2007.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ベルトと、ベルト端部に設けられベルト寄りを規制するベルト寄り規制部材と、端部がベルト寄り規制部材に接触してベルト寄りの規制に寄与する第1のローラと、回転数を測定し可能に構成されベルト速度制御に寄与する第2のローラとを備えるベルトユニットにおいて、

前記第2のローラの端部は、前記第1のローラの端部よりベルトの内側に設置されることを特徴とするベルトユニット。

【請求項2】

請求項1に記載のベルトユニットにおいて、

前記ベルトを駆動する駆動ローラを備え、

前記第2のローラが前記駆動ローラに対しベルト張り側に設置される

ことを特徴とするベルトユニット。

【請求項3】

請求項1又は2に記載のベルトユニットにおいて、

前記第2のローラと前記第1のローラとの最短距離の間に他のローラが介在しないことを特徴とするベルトユニット。

【請求項4】

請求項1ないし3のいずれかに記載のベルトユニットにおいて、

前記第1のローラは前記ベルトを駆動する駆動ローラである

ことを特徴とするベルトユニット。

【請求項5】

請求項1ないし4のいずれかに記載のベルトユニットにおいて、

前記第1のローラとは別に、ベルトに張力を付加するテンションローラを備えることを特徴とするベルトユニット。

【請求項6】

請求項1ないし5のいずれかに記載のベルトユニットにおいて、

前記第2のローラの回転軸の周方向に形成されたマーカと、回転軸の周面に対向して配置され、回転軸の周方向に形成されたマーカを検知する検知手段と、回転軸に摺動するとともに、検知手段を支持するホルダとを備える

ことを特徴とするベルトユニット。

【請求項 7】

請求項 1ないし 6のいずれかに記載のベルトユニットにおいて、

前記ベルトは電子写真プロセスに使用される中間転写ベルトである

ことを特徴とするベルトユニット。

【請求項 8】

請求項 1ないし 7のいずれかに記載のベルトユニットを使用して電子写真プロセスにより画像形成する

ことを特徴とする画像形成装置。